

中目黒「国際平和協力センター建設等」防衛省説明会

1月説明会のドタキャンから4か月 防衛省はやっと来たが、
中目黒には猛毒プルトニウムがあった！

つくるのは”戦争プランニングセンター”！

6月12日東京新聞朝刊社会面：東京都目黒区の住宅街にある防衛省技術研究本部の施設に、核物質のプルトニウム239が長年、保管されていることが分かった。新たな研究（？）施設を造るために同省が開いた地元住民向け説明会で明らかにした。（？：防衛省は今年度、数十億円かけて、中目黒の防衛省統合幕僚学校に属する「国際平和協力？」の教育・広報のセンターを建設しようとしている。）

6月9日（火）防衛省説明会

主催：北関東防衛局

防衛省参加者：中目黒統合幕僚学校・自衛隊幹部学校・技術研究本部、

防衛省防衛計画課・国際協力課・人材育成課ほか約40名。

住民参加者：近隣町会代表者、「防衛省の説明を聞く会」住民有志約70名。

場所：田道ふれあい館 午後7時から9時すぎまで。

○防衛省側は40人もやってきて、住民は立たせたままスタート！

「会場の後ろに何人も立ったままじゃないか。自分たち座ったままって何だ！」の声にやっと増席した。笑って見ている防衛省側のメンバーもいる。何たるスタンス。おまけにスライドだけで資料配布もなし。（防衛省⇒防、住民⇒住）

●大宮では化学部隊が実験していて、中目黒にはプルトニウムがあった！

住：医師だが、自衛隊病院の医師に、「ABC（=NBC=核・生物兵器・化学兵器）対応部隊は三宿の病院に来る」と聞いた。中目黒に来るんじゃないのか？危険なものは絶対もちこまないのか？その担保は？

防：大宮には化学部隊が施設をもって実験しているが、中目黒では危険なことはやらない。我々が危険。決意の問題？

住：1986年参議院予算委員会で中目黒にプルトニウムがあることが明らかにされたが、どうなったのか？

防：誰も入らない施設に監視カメラをつけて保管している。？！！

住：エー！！！！ 目黒だけの問題じゃないじゃないか。

●「国際平和協力センター」は、戦争するプランニングセンター以外の何なのか？

住：海外への出兵を前提とした研究・教育施設なんじゃないか？自衛隊の広報誌では、”日本版海兵隊”といえる「御殿場駒門の部隊とともに中目黒は”日本版PKOセンターの中核”を両輪として担う」と言っている。

防：武器は持っていくが、自衛隊の本来任務となった「国際平和協力活動」。「平和構築分野の活動」。

住：3月に、中目黒で海賊対策の机上演習をやったと報道されたが？

防：やりました。総理大臣の命令だから。？？？

住：じゃあ、やっぱり、「海外に自衛隊員を派遣して治安維持から戦争のプランをするところ」というしかないじゃないか。”平和構築分野”というなら、なぜ防衛省にセンターをつくり自衛隊員以外も自衛隊が教育するのか？なぜこの説明会に外務省が来ないのか？

○「説明」わからん！説明会継続開催しろ！

- ・予定時間を過ぎても、住民から、さらに質問の挙手が続き、「近隣への土壤汚染や風洞実験などに伴う排気の問題も含めて、これじやわからん。もっとちゃんと説明しろ」の声が相次いだ。
- ・「いくつも宿題があるし、疑問も収まらない。外務省も含めて、再度説明会を開催すべきだ」の声に、「宿題などには個々にお答えし。。。説明会については検討しますが。。。」という反応。15分以上も紛糾。ようやく「説明会開催について前向きに検討します」になった。

◎たみとや感想：

いつも、なんの説明もないのに、今回は40人も来て説明するんだ！？ 行く前はそう思った。

いってみると狭い会場に向こう側にぞろっと防衛省の人たち。威圧的でもありなんとも変な説明会場。

細菌に耐えられる防護服の開発、弾の弾道を研究する装置、その上で危険はありませんといわれて、はいそうですかという人がいるだろうか？平和のためにやっているといわれて、鵜呑みにする人がいるだろうか？

こちら側の質問は細部にわたり、なんと敷地内にプルトニウムをおいてあることまで自ら暴露した。

目黒はそういうわけで大丈夫です。危険なことはよそでしますから。化学実験は大宮で、生物兵器は米国で。

おいおい、この人たちの神経は、はかりしれないほど変だ。

私たちは目黒が安心ならいいと思う人たちだと決めているらしい。

怒りが会場中に満ちたのを感じた。これを許すことは、人類として否！強い決意をして会場をあとにした。



フルトニウムに住民不安

メモ書きの感想